

# 經濟環境委員会記録

1 日 時 令和4年12月12日（月曜日）

開 会	午前10時11分
休 憩	午前10時47分
再 開	午前11時16分
休 憩	午前11時33分
再 開	午前11時38分
休 憩	午前11時39分
再 開	午後 0時23分
閉 会	午後 0時43分

2 場 所 第3委員会室

3 出席委員 9人

委 員 長	泉 英 之
副委員長	澤 田 和 秀
委 員	飯 山 勝 彦
//	舎 川 智 也
//	高 田 真 里
//	大 島 満
//	橋 本 雅 雄

委 員

横 野 昭

//

佐 藤 則 寿

4 欠席委員 0人

## 5 説明のため出席した者

### 【環境部】

部長	杉谷	要
理事（環境センター所長）	茶木	聖一
部次長	山森	豊
参事（ごみ減量推進担当）	石黒	健一
参事（環境保全課長）	耕作	優
環境政策課長	沼崎	益大
環境センター次長（管理課長）	長崎	秀樹
環境センター業務課長	飯田	哲
環境政策課主幹（調整担当）	高道	伸治

### 【商工労働部】

部長	関野	孝俊
部次長	藤沢	晃
部次長（コンベンション・薬業・観光振興担当）	長	康博
商業労政課長	谷澤	隆
工業政策課長	長森	貴弘
薬業物産課長	大釜	嘉徳
観光政策課長	柏木	克仁
公営競技事務所長	山崎	正
職業訓練センター所長	松本	晃司
牛岳温泉スキー場所長	中澤	栄三
商業労政課主幹（調整担当）	鈴木	健二

### 【農業委員会事務局】

事務局長	高嶋	善秀
事務局次長	梨木	孝人

### 【農林水産部】

部長	金山	靖
理事（農林水産業振興担当）	本林	成元
部次長	高柳	誠
部次長（技術担当）	前田	剛
農林事務所長	梅田	一好
地方卸売市場長	堀田	英樹
参事（天湖森再整備担当）	谷崎	友紀
農政企画課長	三邊	泰弘
農業水産課長	谷井	隆彦
森林政策課長	金井	誠
農村整備課長	金田	英靖
農林事務所農業振興課長	余川	洋成
農林事務所農地林務課長	奥田	孝治
地方卸売市場次長	水野	智
営農サポートセンター所長	増山	進平
農政企画課主幹（調整担当）	仙石	正明

## 6 職務のために出席した者

### 【議会事務局】

議事調査課長	坂口	輝之
議事調査課主任	江部	なな恵
議事調査課会計年度任用職員	佐伯	瞳

## 7 会議の概要

委員長           ただいまから、令和４年１２月定例会の経済環境委員会を開会いたします。

〔傍聴の申込み（１名）を許可〕

委員長           審査に先立ち、委員会記録の署名委員に、高田委員、大島委員を指名いたします。  
これより、環境部所管分に入ります。  
初めに、当委員会に付託されました  
令和４年分陳情第２１号 シクロシティ株式会社への赤字補填見直しを求める陳情  
を議題といたします。  
陳情文書表は、お手元に配付のとおりであります。  
まず、事務局に陳情文を朗読させます。

事務局           〔陳情文を朗読〕

委員長           本陳情につきまして、この案件を調べましたところ、平成２１年１０月に契約されております。  
したがって、この委員会の中で当時の状況を知っておられる方は佐藤委員と横野委員だけということになります。その当時の状況

をほとんど理解していない方が多いものですから、当時の成り立ちから、できたらシクロシティ株式会社との契約の内容も含めまして説明をした上で、当局の見解を求めます。

環境政策課長 それでは、陳情に対する見解を御説明申し上げます。

本市では、地球温暖化対策推進事業において、全国初の自転車シェアリングシステムとしてアヴィレという公共性の高い社会インフラを整備したものでございまして、本システムは、市が整備費用を負担し、民間事業者が運営を担う、いわゆる上下分離方式に近い官民連携事業であると考えております。

これまでも定例会等で御説明してきましたとおり、当初の整備費用約１億５，０００万円は、環境モデル都市を対象とした１００％充当可能な国の補助金等が活用できたことから、効率的な公共投資によって地域の付加価値を高めるといった持続可能な都市経営を実践する取組の１つとして導入してきたものでございます。

なお、このアヴィレにつきましては、当初ステーション１５基、自転車１５０台で実施してまいりましたが、平成２５年にステーション２基、自転車２０台、平成２６年にステー

ション1基、自転車25台、平成27年6月にステーション2基、自転車25台、平成29年6月にステーション3基、自転車35台を増設し、現在はステーション23基、自転車255台で運用させていただいております。また、アヴィレの運用を開始するに当たりまして、導入前の事業者—これはフランスのジェーシードゥコー株式会社でございますが—との協議において、1つには、システムの利用料収入だけでは経営が困難であること、2つ目に、シクロシティ株式会社の親会社がフランスにあるため、フランスの法律上の問題で経営状況が明らかにできないことが課題であると同っておりました。

そこで、事業者の収入増と経営基盤の安定を図り、事業の継続性の一助とするため、契約書とは別に、年間1,500万円の何らかの業務を市から発注するという覚書を締結したものでございまして、運営補助金に代わるものとして、一定の業務委託を行うこととしてまいりました。

なお、この覚書で締結した金額につきましては、当初年間1,500万円でしたが、先ほど申し上げましたとおり、施設の増設がこれまでに4回ございましたので、自転車の再配置等に係る維持管理に要する費用が

かかるということで、平成２９年に年間２，１００万円に増額したものでございます。

平成２１年度から平成２３年度までは、国の交付金を活用したステーションごとの利用状況等の調査を目的とする中心市街地自転車活用事業を業務委託し、平成２４年度以降の業務につきましては、シティプロモーションを展開する関係各課が、必要に応じて主要事業等を効果的に周知するための広告を掲出してきたものでございます。

こうした業務を委託することは、シクロシティ株式会社へ単に運営補助を行うよりも、本市としても十分なメリットが生じるとともに、採算性の低い公共インフラの安定経営に資するものであり、その支出は赤字補填を目的としたものではございません。

アヴィレは、公共交通の利用を促進する二次交通の役割を果たすだけでなく、中心市街地の回遊性を高め、その活性化に寄与するとともに、本市の施策と包括的に連携し展開することで、まちの魅力・都市の総合力の向上につながってきたものであります。

これらを維持していくためにも事業の継続が必要であると考えていることから、本市といたしましては、引き続き事業者と連携を図りながら、現行システムでの運用を考えている



ところでございます。

委員長

それでは、本陳情について御意見、または、ただいまの当局の説明に対する質疑等はありませんか。

舎川委員

このアヴィレについては、赤字補填という価値観の認識ではなくて、自転車や広告といった市民サービスを提供する包括的な交通政策という市の施策の一環として実施されているものと私たちは認識しています。その市民サービスに対して税金を投入しているという認識なので、赤字補填ではないと我々は思っています。

契約が長く続くので、その課題については今後考える必要があるのかなと考えますが、このアヴィレについて、今後も包括的な交通政策の一環として進めていく必要性は非常に高いと私は思います。

ですが、この陳情にあるような窓口対応が本当にあったのかどうか。「話で聞いた」など曖昧な回答しか得られなかったという、その窓口対応がどうかということが願意の本質的なところかなと思っているのですけれども、そのあたりはどのように考えておられますか。

環境政策課長 窓口に来られまして、時間的に言うと１０分もなく、お話ししたのは五、六分だったと思います。

窓口には２回お越しになったのですが、１回目は私が対応させていただきました。

ちょっと行き違いはあったと思うのですが、アヴィレはもともと採算性が見込める社会インフラではないというところから事業が始まっているという御説明は確かに申し上げました。

なぜ決算書が開示できないのかという御質問に対して、親会社がフランスの企業であることから、フランスの法律上の問題がありますということはお話ししました。その根拠は何かということをおっしゃいまして、その法律の条文まではその場ですぐに回答できないというやり取りは確かにございましたが、何分にも対応した時間が短かったということもあって、十分に御説明し切れなかったと思っております。

フランスの法律について、この機会に細かな話を申し上げますと、フランスの金融機関市場取締機関の一般法令第２２１条第１項で、上場企業が公開できる情報というものが規定されてございます。シクロシティ株式会社はジェーシードゥコー株式会社の完全子会社な

のですけれども、外国の子会社の財務資料は  
この中に含まれていないとされております。  
国外でこうした非公開情報を第三者に伝えた  
場合は、通貨金融法典L 465-1条により、  
2年間の懲役と最低150万ユーロの罰金刑  
が科せられるとされているものでございます。

舎川委員 対応時間が短かったためになかなか説明がで  
きなかったというところについては、お互い  
の受け止めの行き違いなどもあったのだと思  
うのですけれども、今後、丁寧な対応をして  
いくべきなのだろうというところが、多分こ  
の陳情の本質的な願意なのではないかと思い  
ます。

このアヴィレのサービスについては、先ほど  
言った価値観の違いというか、市の施策の一  
環として取り組んでいるということでありま  
すので、その辺について今後気をつけて対応  
していただければと思います。

大島委員 シクロシティ株式会社は、フランスの会社の  
100%子会社であっても、日本法人ですよ  
ね。この日本法人は上場していないのですか。

環境政策課長 シクロシティ株式会社は上場してございませ  
ん。

大島委員      もしその会社の概要について決算書で報告できないとしても、この前の一般質問の答弁でありましたけれども、日本で唯一、富山市しかこの会社のシステムを取り入れていないとすれば、収支報告がどうなのかということをお願いすることは全く問題ないのではないのでしょうか。いかがですか。

環境政策課長    通常の運営補助金であれば報告を求めることはできるとされておりますけれども、今回はこういった事業スキームで行っておりまして、市には開示を要求する強制力がないということが1つございます。

大島委員      運営補助金ではないため決算書が開示されないということで、新たにまた覚書を更新し続けるということは非常に一ある意味、債務負担行為という性格をある程度持ちながら、私たちには全く分からずに、情報公開して初めて平成51年—令和21年まで契約を延長したことが分かるということがちょっと信じられないのです。

その覚書の中に、途中解約した場合の違約金というものは含まれているのですか。

環境政策課長    違約金の規定というものは特に記載はござい

ません。

大島委員      では、もし契約をやめるということになっても、向こうから訴えられる可能性はないのですか。

環境政策課長      その可能性について、あるのかないのかということとは私どものほうでなかなか申し上げにくいのですが、そこは相手方との話合いになると思います。

大島委員      平成24年度以降、シティプロモーションを目的として各部局からお金を出し合ったというような形になっていきますけれども、これはお金が幾ら出ていたのかということを追及して初めて分かってきたわけです。本当は、最初に導入を担った環境部が全部で幾ら支出したのかということをもとめて見えやすくすべきであって、分散したらそこまで大した金額ではないというイメージを持ちますけれども、まとめたら結構大きな金額であるということが1つ。

また、このシクロシティ株式会社の自転車の利用に対して、どこが責任を持っているのか一利用状況の向上ということがほとんど見えてこないのです。もっと皆さんが乗りやすい

システムにするためにどうすればいいのかな  
どということに対する最終的な権限は、環境  
部にあるのですか。

環境政策課長    アヴィレに関する利用促進や広報に関しては  
環境部環境政策課で実施しております。

大島委員        利用率が非常に低いからお金を出しますとい  
うことではなくて、どうすれば利用がもっと  
促進されて赤字が減るのかということをぜひ  
考えていただきたいと思います。

委員長            ほかにありませんか。

〔発言する者なし〕

委員長            ほかにないようですので、この程度にとどめ  
ます。

次に、念のため確認いたしますが、本陳情を  
継続審査とするとの御意見はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長            それでは、引き続き審査を続けます。  
これより、令和４年分陳情第２１号の討論に  
入ります。

討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長

討論なしと認めます。

これより、令和４年分陳情第２１号を挙手により採決いたします。

本陳情は、採択することに賛成の諸君の挙手を求めます。

〔賛成者なし〕

委員長

挙手なしであります。

よって、本陳情は不採択とすることに決定いたしました。

次に、

富山市婦負斎場の休止について、  
当局の報告を求めます。

環境保全課長

〔委員会資料により説明〕

委員長

ただいまの説明について、何か質問はありませんか。

大島委員

私もやがてここでお世話になりたいと思っているのですが、休止してから再開できるまで

どのぐらいの期間を見込んでおられますでしょうか。

環境保全課長 実際は来年度に設計業務などを行う予定なので、はっきりとは分かりませんが、設計や工事などがございますので、2年から4年程度かかるのではないかと考えております。

横野委員 私も婦負斎場を担当したことがあるので本当に残念なのですが、廃止などという考え方は絶対に持たないですね。

環境保全課長 将来的にはまだちょっと分かりませんが、火葬のピークが令和30年度ぐらいまで続きますので、そのために大規模な修繕を行えたらいいと考えております。

横野委員 先ほどの答弁で、再開まで2年から4年かかるというのは長過ぎるのですが、なぜそこまで長くかかるのか。予算がつけばできるのでしょうか。

環境保全課長 一応、期間を長く見ております。  
まず設計を行った上で、極力早く再開できるような事業スキームを組みたいと思っておりますが、今現在、建設物資の確保なども難し



く、例えば１年半や２年半で再開できますというお答えをしてしまうと、実際にその時期に間に合わなかった場合に困りますので、少し長めに予想しております。

横野委員      今、人体炉は４基あるのですけれども、４基全部が対象ですか。

環境保全課長      それも併せて設計に盛り込みたいと思いますが、新型炉にする場合については減炉できないかと考えております。  
今はれんが式の炉なのですけれども、富山市斎場に入っているような機械式の炉に入れ替えることができれば、減炉しても火葬の件数を確保できるのではないかと考えております。

環境部長      ちょっと補足しますが、これは来年度予算に計上する予定にしているのですけれども、修繕を行うのか改修を行っていくのかということはまだ検討中でございます。そういったことで、先ほども言ったような気がするのですけれども、来年の３月議会で御報告させていただきたいと思っております。

舎川委員      富山市の人口構成上の流れでいけば、やはりこの婦負斎場を休止するのはまだ先の話なの

かなと思っております。確認ですけれども、まず修繕か大規模改修かという方向性としては、それでよろしいですか。

環境部長 火葬のピークが令和20年から令和30年ぐらいになると言われております。  
それに対して、婦負斎場をこれでなくすということになりますと、火葬炉も足りなくなりますので、婦負斎場については継続して稼働させていく予定でございます。

舎川委員 継続して稼働させていくという計画が、来年3月にまた明らかになるということですね。  
設計や工事の期間中、火葬される方々をどちらで受け入れるのかということは、もう大体予測しておられるのですか。

環境保全課長 最寄りの斎場は大沢野斎場ですが、さらにルートによっては西番の富山市斎場も利用可能かと思っております。

舎川委員 富山市斎場などいろいろなところで受け入れるということに対して、住民の感情的なものもやっぱりあるので、そこは慎重に説明するなどして行ってほしいと思います。  
加えて、大沢野斎場や北部斎場も調べられた

のですよね。そちらの状況は大丈夫なのでしょうか。

環境保全課長 大沢野斎場の火葬件数からいくと、今のところ緊急性は低いと。

北部斎場につきましても、建物自体は大分古いので計画を立てたほうがいい時期ではあるのですが、火葬炉は平成25年に一度大規模改修しておりますので、これもしばらくは大丈夫だろうという見込みでございます。

委員長 ほかにありませんか。

〔発言する者なし〕

委員長 ないようですので、この程度にとどめます。  
次に、環境部所管分で、ただいまの報告以外に何か質問はありませんか。

高田委員 家庭ごみの有料化の件ですけれども、今回も一般質問で複数の議員から質問があったと思います。大変関心の強いところで、環境部にも頑張ってもらわなければいけない部分がいっぱいあると思います。  
部長は令和3年12月に報告された案件について、確定的ではありませんという答弁をさ

れたと思うのですけれども、その後、答弁のタイミングがなくて、その一言の答弁で終わっていたので、その辺をもう1回詳しくお話しいただければと思います。

環境部長

令和3年12月定例会の経済環境委員会におきまして、家庭ごみ有料化の導入について委員会資料に沿って御説明したことだと理解しているのですけれども、家庭ごみ有料化の導入を検討するに当たりまして、その当時における環境部の考えをお示ししたものでございます。

本市における家庭ごみの有料化についての素案も検討されていない中で、確定しているものは何一つございませんけれども、家庭ごみ有料化の検討の概要について御説明したものでございます。

この考えを示したときもそうですけれども、その後も各会派の方から様々な御意見をいただきました。

特に、市民に対して丁寧に説明すること、また、もっと慎重に検討すればいいのではないかということなどの御意見がございましたことから、当初は予定しておりませんでした市民との意見交換会を開催することとしたものでございます。

その意見交換会の内容につきましては、主に本市のごみの排出量の状況やごみの減量化の施策について説明するものでございますけれども、減量化に有効とされております家庭ごみの有料化につきましても、他都市の事例等を交えて御説明をしているところでございます。

現在はまだ具体の事例収集や分析を進めているところでございますけれども、環境部といたしましては、本会議でもお答えしましたとおり、制度内容や導入時期を含め、意見交換会や環境審議会など様々な機会で市民の皆さんの御意見をお聞きしながら、今後も慎重に検討してまいりたいと考えているところでございます。

高田委員

私も令和3年12月定例会の経済環境委員会の委員会資料を読ませてもらっているのですが、あくまでも制度の導入に向けて検討しますという報告だと受け止めて、予定時期につきましても、この時点では令和5年度後半以降ということで、恐らくどれだけ早くてもこの時期なのだという意味で受け取っておりました。

今、各生活圏ブロックで住民向けの意見交換会を開いていただいていて、また来月も開催

されると思いますけれども、市民の声をしっかり受け止めながら検討していただければと思いますので、よろしくお願いいたします。

大島委員

私もごみの減量化の質問なのですが、まず、意見交換会については、ホームページには来年7か所、今年7か所で開催とあります。

最初、本年11月8日に富山市民プラザで開催したときに4人しか来なかったと。直近の八尾コミュニティセンターでの開催時も8名と、参加人数が非常に低調なのです。

それで、タイトルが家庭ごみ減量化施策についての意見交換会となっておりますが、家庭ごみ有料化制度導入の検討について資料を何枚か割いてきちんと説明するにもかかわらず、なぜ今この時期に、タイトルに家庭ごみ有料化と入れないのか。

話がある程度進んでいるのですから、家庭ごみ減量化と有料化についての意見交換会としないと、皆さん全く知らずに来て、家庭ごみの状況はこうですと言われて、最後に有料化についてはこうですという説明があると。

まだ決まっていませんと言われますが、一般質問の答弁で、1リットル当たり0.6円から2円までの中で決めますと踏み込んで言われた以上は、やはり皆さん気になるので、来

年1月以降の開催時にはぜひそのように変えていただきたいと思います。

あと資料について、この前、八尾地域での意見交換会で御指摘したように、令和2年のごみ排出量と比べて約13%減が目標となっていますが、令和3年の実績である566グラムと比べると約10%減なのです。そういう数値も最新のものに入れ替えて御説明いただきたいということは、八尾コミュニティセンターで参加したときにお話ししましたがけれども、それも改善されていない状態でホームページに出ています。

ぜひ環境部を挙げて取り組んでいただきたいと思います。

なぜそう言うのかというと、この資料はないのですかと私が本庁舎2階の環境部へ行ったら、関係ありませんとは言いませんけれども、こちらではないので環境センターに行ってくださいということで、環境センターにほぼ丸投げのような形になっていないのかということをお指摘したいのですが、いかがですか。

環境部長

そういった環境センターに丸投げという形は取っていないと私は思っているところであります。

今ほど意見交換会の資料の件についてもおっ

しゃいましたが、今現在、素案を策定中でございまして、まだそれをお示しできるような段階ではございません。ですので、ごみ減量化の施策の１つとして家庭ごみ有料化の他都市の状況をお伝えする内容になっているということでございます。

最新の令和３年度の資料がないとおっしゃいましたが、富山市分としては令和３年度の数値をお示しできるのですけれども、全国との比較という形で説明しておりまして、全国の数値は令和２年度のものが最新ということでございますので、令和２年度の数値を使って説明しているということでございます。

大島委員

しかしながら、令和８年度の目標値を５１４グラムにするということで比べていらっしゃるわけですから、富山市の現状は令和３年度の実績を出して約１０％減と表記すべきであろうと思います。

国の目標については令和２年度と比べてもよろしいかと思うのですが、やっぱり最新のものと比べて、来年どうなっていくのかということを見極めていただきたいと思います。

今日もこの委員会に来る前に本庁舎２階の環境部のカウンターのところを見ましたけれども、こういう資料があるとか、今度はこうい



う意見交換会がこのように開催されますなどという告知がないのです。本当に環境部を挙げて取り組んでいるのかという思いがあります。

この意見交換会のタイトルもごみの減量化だけではなくて、資料の取組３でページを割いてかなりしっかり説明されますので、家庭ごみ有料化の検討とつけないと、実際に来られた方、もしくは興味を持って真剣に来られる方に対してはちょっと不親切であると思います。ぜひ検討をお願いいたします。

委員長            要望でよろしいですか。

大島委員        はい。

委員長            ほかにありませんか。

〔発言する者なし〕

委員長            ないようですので、この程度にとどめます。  
以上で、経済環境委員会環境部所管分を終了いたします。

午前 10 時 47 分    休憩

~~~~~

午前 11 時 16 分 再開

委員長 経済環境委員会商工労働部所管分の議案の審査を行います。  
議案第 150 号 富山国際会議場条例の一部を改正する条例制定の件、  
議案第 154 号 土地処分の件（呉羽南部企業団地分譲地）、  
以上 2 件を一括議題といたします。  
これより、順次、当局の説明を求めます。

観光政策課長 〔議案第 150 号について、  
議案説明資料及び委員会資料により説明〕

工業政策課長 〔議案第 154 号について、  
議案説明資料により説明〕

委員長 これより、質疑に入ります。  
これも順を追って行いたいと思いますが、議案説明資料 12 ページの富山国際会議場条例の一部改正についてと、委員会資料 2 ページのコンパクトデリトヤマのスペース撤去・改修について、質疑がある方はいらっしゃいますか。

大島委員 民業圧迫につながる懸念はまずないだろうと

思っているのですが、この交流ギャラリーについて、３つのコーナーを一括して借りないといけなくなるということで、借りるときは、要らないところの分までお金を払わなければいけないことになるような気がします。

これを１、２、３やＡ、Ｂ、Ｃなどに分けて、一括で借りたら１万９，８００円だけれども、１か所だけ借りたら８，０００円などを使い勝手がいいように分割すべきではないかと思うのですが、いかがでしょうか。

観光政策課長 従来の交流ギャラリーのスペースは大体９０平米ございます。やや手狭だったということも聞いておりまして、今回は一括で借りていただく料金設定としておりますが、利用者の声も聞きながら、そういった要望が多いようならば、また条例改正も視野に入れながら検討させていただきたいと考えております。

大島委員 条例改正ですから、やってみて来年また変えましょうというのはちょっといかがなものかと思うのです。十分練りに練って、これしかないということで条例改正をして、どうしても駄目だったらやっぱり変えないといけないというものが条例改正ではないかと。そういう重みがあると思うのですが、いかがでしょ

うか。

観光政策課長   今回はやはり手狭だと当課では考えまして、  
できることならば一括で借りていただいたほう  
が皆様の利用に資するのではないかと考え  
た上で、こういった料金設定にさせていただ  
いたものでございます。

大島委員       手狭だと思っている方も当然いらっしゃる  
と思うのですが、小さなところだけ借りたいと  
いう人も恐らくいると思うのです。  
いつも全部借りていただけるという方は、大  
体の見込みがあるのでしょうか。

観光政策課長   見込みといいますか、私どもが聞いているこ  
ととしては、やはり今までの部分だと少し狭  
いという声が多かったものですから、そのよ  
うに考えております。

委員長          この件について、ほかに質疑はありませんか。

〔発言する者なし〕

委員長          ないようですので、議案説明資料１３ページ、  
土地処分の件（呉羽南部企業団地分譲地）に  
ついて、質問はありませんか。

〔発言する者なし〕

委員長

ないようですので、これをもって議案の質疑を終結いたします。

これより、議案第150号、議案第154号、以上2件を一括して討論に入ります。

討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長

討論なしと認めます。

これより、議案第150号、議案第154号、以上2件を一括して採決いたします。

各案件は、原案のとおり決することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

委員長

御異議なしと認めます。

よって、各案件は原案可決されました。

以上で、商工労働部所管分の議案の審査を終了いたします。

次に、

キャッシュレス決済ポイント還元事業（第3弾）の実施結果について、

当局の報告を求めます。

商業労政課長     〔委員会資料により説明〕

委員長           ただいまの説明について、何か質問はありませんか。

舎川委員       このキャッシュレス決済ポイント還元事業については、令和４年６月定例会の一般質問の答弁で、５億円の事業費で２５億円の経済効果が得られるだろうと予想されていたと。しかしながら、分析された上で、現状、なかなかそこまでは届かなかったということについては、非常に残念だと私は思います。サービス事業者や小売業、飲食業は非常に厳しい時期なので、せっかくキャッシュレス決済ポイント還元事業を実施するのですから、前から言っているように、もう少し市場の調査を一ほかにどのようなサービスがあるのかや、先ほどおっしゃったようなキャッシュレス決済サービス事業者独自の事業はこの時期に実施するのだということなど、最初から分かっていないとやっぱり難しいと思うのです。せっかく生かせるものがこの時期に生かされなかったということは、非常に残念だと思うのです。ですので、今後はそこを調査した上で、ちゃんと市場を絞って実施していかなければなら

ないということをまたお願いすることと、余ったと言ったら変ですが、執行しなかった予算について、引き続き富山市の経済対策に充当していてもらいたいと思うのですけれども、その辺について、どのように考えておられるのか教えてください。

商業労政課長 本事業で活用する予定でありました国の交付金の残額につきましては、コロナ禍における原油価格・物価高騰に対応するための本市の他の事業に活用すると財務部から伺っているところであります。

舎川委員 その他の事業とは、どのようなものですか。

商業労政課長 交付金の期限として令和5年3月31日までに事業の実施を終えなければならないということで、キャッシュレス決済ポイント還元事業の期間延長や再実施では年度内に事業完了が見込めない可能性がありましたので、残額については市全体のその他の事業で活用できるような形で財務部にお願いしている状況でございます。

商工労働部次長 今、商業労政課長が申しましたとおり、商工労働部として結果的に4億円余り—まだ額は

確定しておりませんが一の不用額を出す形になっております。

舍川委員がおっしゃったような、どの事業にどれだけ充当するのかということについては私どもに裁量権がないものですから、財務部と協議しまして、商工労働部で使わなかった残額については、より有効な方法で活用していただけると伺っております。

また、市場調査等の御質問もございましたが、キャッシュレス決済ポイント還元事業は今回が第3弾でした。3回の実施により事業が浸透したかとは思うのですけれども、この方法だけによらず、来年度以降また新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金等を活用できる機会があれば、どうすれば中小事業者や生鮮食料品などの小売業の皆さんに直接還元できるのかについて、キャッシュレス決済も含め、また新たな方法も視野に入れながら考えて施策を展開してまいりたいと考えております。

委員長           ほかにありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長           ないようですので、この程度にとどめます。



次に、商工労働部所管分で議案及びただいまの報告以外に、何か質問はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長            ないようですので、この程度にとどめます。  
以上で、経済環境委員会商工労働部所管分を終了いたします。

午前 11 時 33 分    休憩

~~~~~

午前 11 時 38 分    再開

委員長            経済環境委員会農業委員会事務局所管分に入ります。  
本委員会に付託された議案及び議決不要の報告案件はありませんので、この際、何か質問はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長            ないようですので、この程度にとどめます。  
以上で、経済環境委員会農業委員会事務局所管分を終了いたします。

午前 11 時 39 分    休憩

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

午後 0時23分 再開

委員長 経済環境委員会農林水産部所管分の議案の審査を行います。

議案第151号 富山市古洞の森自然活用村条例を廃止する条例制定の件、

報告第39号 専決処分について承認を求める件（控訴の提起の件）、

以上2件を一括議題といたします。

これより、当局の説明を求めます。

農業水産課長 〔議案書により説明〕

委員長 これより、質疑に入ります。

質疑はありませんか。

大島委員 一般質問でもお尋ねしましたけれども、2週間以内に控訴するために専決処分したということは分かりますが、内容については一般質問で言ったとおり、施設単体ではなくて会社全体で経営状況が悪化していることとするよう市が前指定管理者に助言したというか、誘導したと。それから、損害賠償もこれだけかかるかもしれないということの説明がなかったということで、全面的に請求が棄却された

わけです。

議案書 181 ページの 5、訴訟の方針として、第二審判決の結果、必要があるときはさらに上訴するとあります。普通、控訴だけであれば、2 週間以内に申立てを行わなければならないということで専決処分してもいいのですが、その上、負けるのか勝つのか、一部認められるのかは分かりませんが、さらに最高裁へ上告することをなぜこの専決処分の中に含めなければいけないのか教えてください。

委員長                      どなたか答弁できますか。

〔発言する者なし〕

大島委員                      さらに言えば、二審判決の結果を見てからまた専決処分して上告されればいいのであって、どうしてここでさらに上訴するとまで言っているのか分からないのです。

また、適当と認める条件で相手側と和解するとありますけれども、全面敗訴した側がこういうことまで言うのは少し言い過ぎではないかと思うのですが、これも代理人弁護士か法務指導監からの御指導だったのですか。

農林水産部長 この件につきましては、専決処分したことに対して承認をもらうために提出しているのですが、こういった事務手続についても法務指導監から助言をいただいております。

まず、訴えを提起するに当たって、今回の件のように敗訴する場合がありますので、そういったことも含めて提起していけばどうかというアドバイスをいただきました。今回から一全庁的だとは思いますが—このように、次を見据えた形で議決を得たらどうかということが基本にあって、訴訟の方針を記載しているところであります。

大島委員 次を見据えて上訴することまで書けばどうかと指導、助言されたということでもいいのでしょうか。

農業水産課長 こちらの訴訟の方針につきましては、市の法務指導監と訴訟代理人という2名の法律の専門家と協議してこのような形になりました。そのようなアドバイスを受けております。

大島委員 助言等の関与はあったということによろしいのですね。

農業水産課長 こちらの議案の訴訟の方針などについては、

手続や文面に関してアドバイスをいただいております。

農林水産部長 市として今後どのような最初の提訴の仕方をするのかということを御相談している中で、今回のような件もありますので、こういった表現を加えたほうがいいのではないかというアドバイスを受けております。

委員長 ほかにないようですので、これをもって議案の質疑を終結いたします。  
これより、議案第１５１号、報告第３９号、以上２件を一括して討論に入ります。  
討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長 討論なしと認めます。  
これより、議案第１５１号、報告第３９号、以上２件を一括して採決いたします。  
各案件は、原案のとおり決することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

委員長 御異議なしと認めます。

よって、各案件は原案可決・承認されました。  
以上で、農林水産部所管分の議案の審査を終  
了いたします。

次に、

富山市公民館条例の一部改正に伴う農林水産  
部所管条例の一部改正等について、  
当局の報告を求めます。

農林事務所   〔委員会資料により説明〕  
農地林務課長

委員長       ただいまの説明について、何か質問はありま  
せんか。

横野委員     この3つの施設を建てたときに私も実際に携  
わっていたのですけれども、国庫補助金など  
返還するものはないのですよね。  
ということかということ、農業関係で補助金  
を頂いているものですから、例えば施設名が  
調理室などとなると、農業の一環として調理  
をするという趣旨で造った施設なので、条例  
の頭や文章の中身を変えるだけでいいのか、  
施設の中身についてはどう考えているのか。  
これは公民館が考えることなのか、また補助  
金の返還は全部完了しているのかどうか、そ  
のあたりを教えてください。

農林事務所 補助金については、まだ一部、場合によって  
農地林務課長 は返還の可能性がある部分があります。

それから、これらの施設は建てられた当初から公民館として利用されているということで、現状、公民館として利用されている施設について整理するため条例の一部を改正するという判断の下に行っているものでございます。

横野委員 ちょっと待ってください。公民館として建てたのではなくて、この施設を建てて、公民館が一部利用していたのです。その言い方は違います。

申し訳ないですが、建てたときに携わった者からすれば、補助金を返還していないのであれば、逆に言うと農林水産省へ補助金を返還しなさいという文言だけで済むのかどうか。そのあたりを確認してください。答弁になっていないではないですか。

補助金を一括返還するのであれば、いつ返還するのですか。

今この１２月定例会で、条例改正とは別に、例えば補助金返還の手続はしていませんよね。条例を改正するだけですよね。それがどうなっているのかと聞いているのです。

農林事務所      おっしゃるとおりだとして、今までどおりの  
農地林務課長      利用実態に合わせるということで、条例につ  
いては公民館側のものだけに変わるというこ  
とでございます。

横野委員      それでは答弁になっていないではないですか。  
ですから、補助金の返還はどうなるのか、最  
終的な結論を持ってきてください。今出せない  
のであれば、幾ら、何年残っているのか、  
もう全部終わったのかどうか、改めてもう一  
回確認してください。  
議会が賛成すれば名前だけを変えた条例には  
なりますけれども、それに伴うものは実際ど  
うなっているのかということを確認している  
のですから、それに対してしっかりした答弁  
をしてください。

委員長      後日というか、後で資料を提出するというこ  
とでよろしいですか。

（「はい」と発言する者あり）

委員長      よろしいですね。  
横野委員、それでよろしいでしょうか。

横野委員      いいです。



大島委員      今の件ですが、返還額の概算が分かるのだったら、金額だけでも教えていただけますか。

（「今、分からないのでしょうか」と発言する者あり）

委員長      後日資料を提出するということで、よろしく  
お願いいたします。  
ほかにありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長      ないようですので、この程度にとどめます。  
次に、農林水産部所管分で、議案及びただいまの報告以外に何か質問はありませんか。

橋本委員      今回、白木峰山麓交流施設の管理運営委託についての補正が出ていましたけれども、私が聞きたいのはその奥のことで、あそこには林道が通っていると思うのです。その林道の現状がどうなっているのか教えてください。

農林事務所  
農地林務課長      恐らく杉ヶ平キャンプ場から白木峰へ登っていく林道のことをおっしゃっているのだと思いますが、今、災害復旧の工事中で、まだ通れない状況です。

橋本委員      かなり前から通れないのではないかと思います。崩れては直すの繰り返しかと思いますが、今年も山のシーズンはもう終わりましたし、来年度に向けて一あのニッコウキスゲは本当にすばらしいし、市民の憩いの場で、また観光施設にもなり得るところだと思うのです。何とか来シーズンに間に合うように復旧できないものですか。

農林事務所      おっしゃるとおりです。我々も同じ認識でございまして、最大限取り組んでおりますが、農地林務課長      工事を出してもなかなか取ってもらえなかったなどいろいろな事情がございまして、今はまだ終わっていないですけれども、鋭意進行中でございます。

橋本委員      来年に向けて楽しみにしております。

大島委員      質問がてんこ盛りで申し訳ないのですが、天湖森の現在の進捗状況を聞かせていただけますでしょうか。

農林事務所      天湖森の事業につきましては、現在実施設計農地林務課長      や測量、アドバイザー業務など、各種委託が今、発注されているところでございます。この後の工事に向けて今、進めているところ

でございます、今年度予定している委託については全て発注済みの上で、現在進行中というところでございます。

大島委員      それでは、来年の着工の予定は立っているのでしょうか。

農林事務所      次は工事に入っていく段階になるのですけれども、この後、予算要求をすることになります。当然、現段階ではまだ話もしていませんし議会も通っておりませんので、予定とすれば今までどおり、来年度末の着工を目指して進めているという状況でございます。

農地林務課長

横野委員      今の質問に関連しますけれども、来年度天湖森の工事に取りかかるということは、設計業務など全てについて令和5年3月議会で報告があって、新年度予算に計上するということですね。

農林事務所      今の目標としては、そのとおりでございます。

農地林務課長

横野委員      そうしたら、令和5年3月議会で天湖森についての素案が出てくるということですね。

農林事務所 今はそこを目指して進めております。  
農地林務課長

舎川委員 農林水産物をもっと！楽しモーキャンペーン  
について質問します。

クーポンの利用期間を延長されたと聞いておりますが、現在の進捗や今後の見込み、事業をどう発信するのかについてお聞かせください。

農政企画課長 農林水産物をもっと！楽しモーキャンペーンのクーポンにつきまして、まず、年末年始はもともと外食需要等も多いため、クーポンを利用しなくても大丈夫だと考えていたものですから、利用期間に含めていませんでした。ただ、去年とはキャンペーンの実施時期が違いますから一概に比較はできないのですけれども、今年10月から12月の新型コロナウイルスの感染拡大状況等を鑑みたときに、こちらが思っているほど利用率がよくなかったと。この利用率につきましても、売り掛け状態になっていて実際に換金されていない分がお店にたまっていることもあるため、実際の利用率がどうなのか読めない部分はあるのですけれども、前年度と比較してみたときに、こちらが望んでいるほど利用が増えていなか

った部分があったものですから、利用期間を少し延長しようということになりました。

この延長につきましては、もともとの契約において、何かあったときには期間を令和5年1月末まで延長することも一応考えておりました。

昨年度の利用率は77%だったものですから、それを超えるように頑張っていきたいと思っております。

今、広報等の話がありましたが、基本的に、9割ぐらいの方はインターネットで申込みをされており、その中にはメールアドレス等もちゃんと記載してもらっているものですから、メールを通じていろいろ発信したり、あとは1割方一メールを使われていない方に対しては、新聞広告やテレビ広告、広報にも掲載して発信していきたいと思っております。

委員長

ほかにはないようですので、この程度にとどめます。

以上で、経済環境委員会農林水産部所管分を終了いたします。

これで、12月定例会の当委員会に付託されました全議案の審査は終了いたしました。

委員各位に御相談申し上げます。

委員長報告につきましては、正・副委員長に

御一任願いたいと思いますが、いかがでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

委員長

それでは、そのように取り計らいます。  
これをもって、令和４年１２月定例会の経済  
環境委員会を閉会いたします。

令和 4 年 1 2 月定例会  
経済環境委員会記録署名

委員長 泉 英 之

署名委員 高 田 真 里

署名委員 大 島 満